

* ~雪燈籠制作マニユアル~



* はじめに

弘前の4大まつりのひとつである

「弘前城雪燈籠まつり」

は市民の皆様が手作りした雪燈籠が中心となるまつりです。

雪燈籠づくりに興味を持った方は、このマニュアルを参考に是非制作にチャレンジしてみてください。

みんなで弘前の冬を盛り上げましょう！

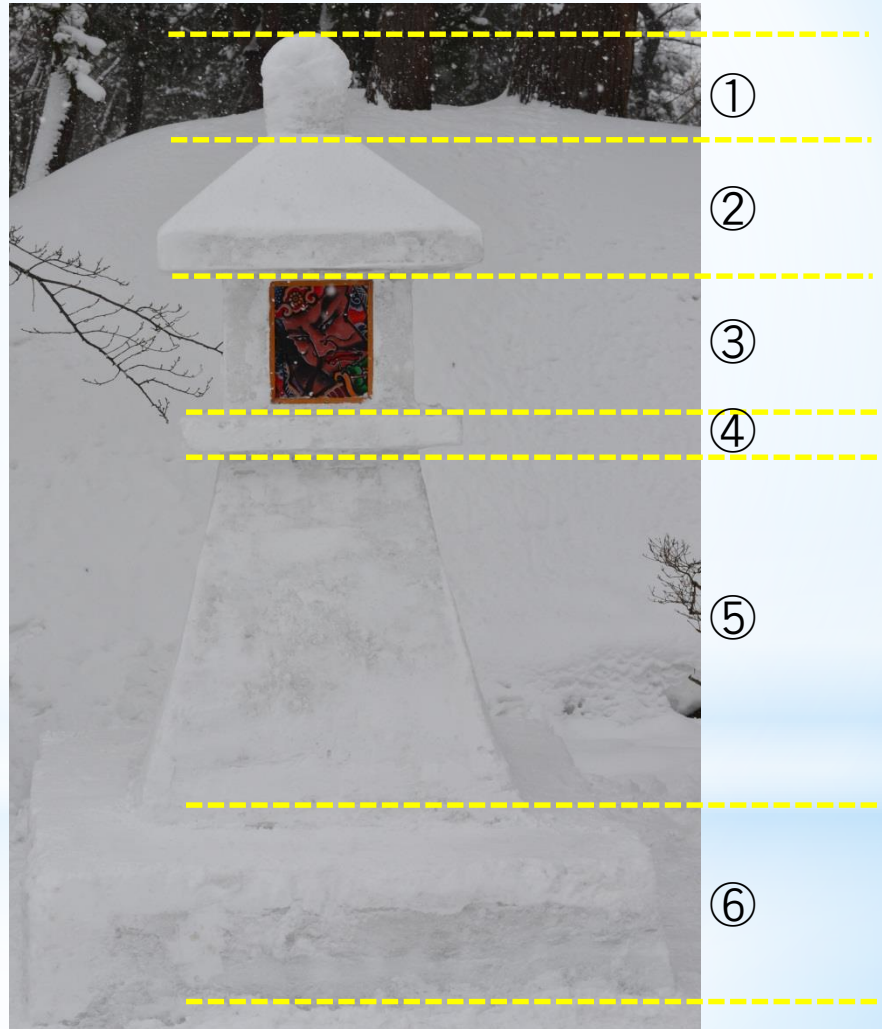
皆様のご参加、心よりお待ちしております。

弘前城雪燈籠まつり運営委員会

* 燈籠について

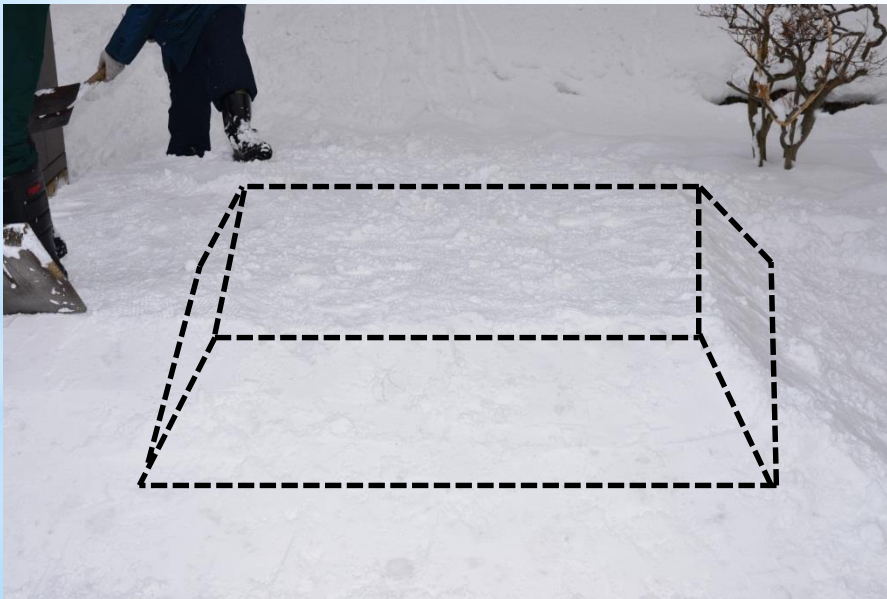
＜各部分の名称＞

- ① 宝珠（ほうじゅ）
- ② 笠（かさ）
- ③ 火袋（ひぶくろ）
- ④ 中台（ちゅうだい）
- ⑤ 竿（さお）
- ⑥ 台座（だいざ）



* 台座作り

雪を集め、台形状に足やスコップを使って押し固めます。



* 木枠をはめる

竿部分を作っていくための木枠を組み立てます。

途中で外れないようにしっかりと固定します。

※木枠は公園緑地課で貸出しています。

サイズは90センチ×90センチです。



* 木枠をロープで 固定する

木枠に付属しているロープを写真のように
張り巡らせます。

1



2



3



* 雪をつめる

- ・ 台座と木枠を雪で固定し、雪を詰めていきます。

- ・ 1段目が終わったら木枠を上にもずらし、高くしていきます。

この時、木枠と1段目を雪で固定します。

低温で雪がつかない場合は木の棒などで支え、固定します。

1



2



3



* 笠を作る

雪柱の高さが木枠ふたつ分になったら、てっぺんを台形状にし、雪を踏み固め、笠をつくります。

この作業のとき、高いところに上るので、落ちないように注意してください。

1



3

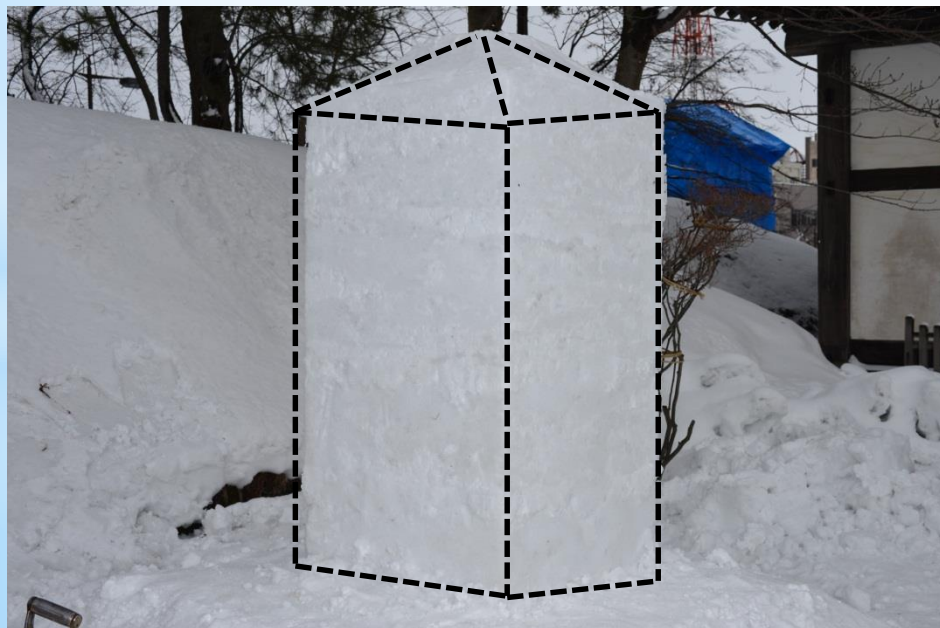


2



* 木枠をはずす

ベースが完成です！



*線引き

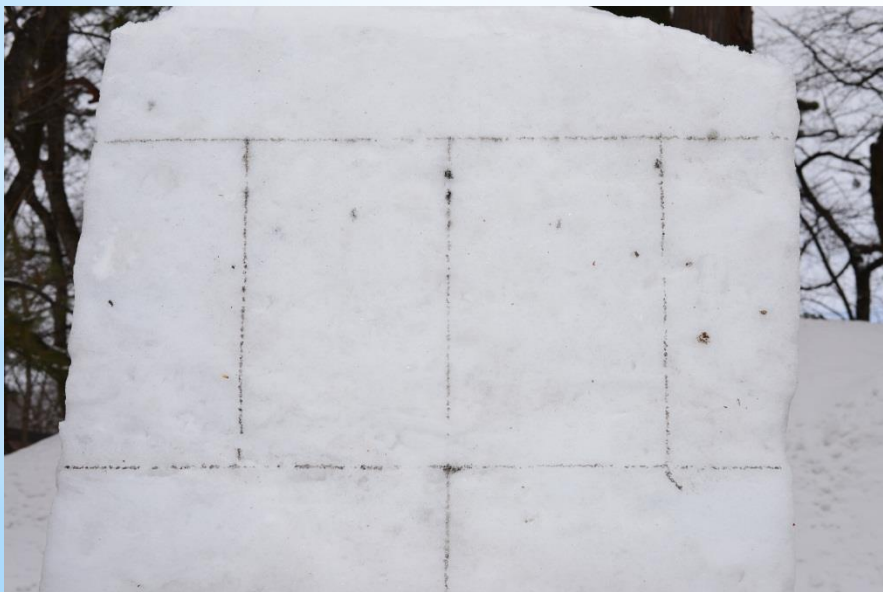
左から、左官鍬（さかんごて）、スコップ、のこぎり、定規代わりに木の棒を用意します。お持ちでない場合は、代用品でも構いません。

笠部分、火袋部分、竿部分に当たりをつけ、燈籠の高さを超える長さの木の棒を定規代わりにし、線を引いていきます。

1



3



2



4面すべてに線を引いていきます。
この時、すべての面に水平に線を引くことが
きれいに完成させるコツです。



* 削りだし

笠部分の形を整え、火袋部分をのこぎりなどを使って削っていきます。

削りながらならすのであれば、スコップがおすすめです。

1



2



3



中台と笠がなるべく水平になるように削り、仕上げに表面は左官鏝を使ってならしましょう。



*整形

いよいよ完成が近づいてきました！
スコップや左官鏝を使って、
きれいに全体の形を整えましょう！



*いよいよ完成！

最後に、窓部分をくりぬきます。

くりぬくのは正面だけでOK！

みなさんの作業はここで終わりです。

あとは、公園緑地課で絵をはめ込み、
完成になります！！

*絵枠の大きさは28センチ×35センチですが、
はめ込むときに調整しますので、窓部分
は25センチ×25センチを目安にくりぬい
てください。

3



1



2

